

アフリカ知的財産ニュースレター Vol. 112

◆ 目次

1. 主要トピック

ARIPO

- ・タンザニア（本土）を指定国とする商標登録に法的強制力なし

エジプト

- ・特許、植物品種、著作権に関わる公定料金の引上げ

ケニア

- ・KIPI の商標登録承認を所管省が阻止する危機的事態——詐欺行為の申立を受けて KIPI による商標および特許の承認を停止
- ・ケニアのデータ検証・確認プロジェクトが終了

リビア

- ・リビア商標局が認証済み文書の国内認証に関する要件を復活

OAPI

- ・OAPI が知財文書デジタル化プロジェクトを順調に完了

南アフリカ

- ・南アフリカの知財枠組みについて予想される重要な展開

タンザニア

- ・タンザニアの新たな水際対策：輸入品に関する商標登録義務が 2025 年 12 月から発効

ウガンダ

- ・著作権登録の簡略化を目指す URSB が官報掲載に関する要件を撤廃

2. 他のトピック

文末を参照

◆ ニュース

1. 主要トピック

ARIPO

・タンザニア（本土）を指定国とする商標登録に法的強制力なし¹

タンザニア控訴裁判所が 2025 年 9 月 26 日付で示した判決によれば、アフリカ広域知的財産機関（ARIPO）の「バンジュール議定書」（Banjul Protocol）に基づきタンザニア本土を指定国として ARIPO 経由で登録された商標はタンザニアにおいて法的拘束力を持たないという。バンジュール議定書は、タンザニアの国内法である「1986 年商標・役務商標法」（Trade and Service Marks Act 1986）に編入されていないからである。したがって、商標権者がタンザニア本土で権利を行使しようとする場合、ARIPO の登録だけに頼ることはできない。有効で法的強制力を備えた権利を取得するためには、タンザニア国内の商標局を通じて商標の国内登録を確保しなければならないのである。今回の判決は特に商標に適用されるものである。これとは対照的に、（ARIPO のハラレ議定書（Harare Protocol）に基づき）タンザニアを指定国とする ARIPO の特許や実用新案は、従来どおり有効であって法的強制力を有している。

エジプト

・特許、植物品種、著作権に関わる公定料金の引上げ^{2,3,4,5}

エジプト知的財産庁（Egypt's Intellectual Property Authority ; EGIPA）は 2025 年決定第 138 号、同 140 号および同 141 号（Decisions 138/2025, 140/2025 and 141/2025）を発令し、特許・植物品種・著作権に関わる公定料金を 2025 年 10 月半ばから実質的に引き上げる旨を告知した。特許に関わる各種手数料（2025 年決定第 138 号）は大幅に引き上げられ、特許の調査、出願、登録の費用が 200～300%増となる上、補正、譲渡および延長に関する手数料が新たに導入される。2025 年決定第 140 号は植物品種に関わる手数料を改定するものである。同決定に基づき、植物品種の登録出願、DUS 試験（区別性・均一性・安定性試験）の手数料および許諾料の新規導入または引上げが行われる。2025 年決定第 141 号は著作権に関わる手数料を改定するものである。これにより、著作権の登

¹ https://www.lexology.com/library/detail.aspx?g=91091b39-501d-48c0-88b1-c19821f85014&utm_source=Lexology+Daily+Newsfeed&utm_medium=HTML+email+-+Body+-+General+section&utm_campaign=Lexology+subscriber+daily+feed&utm_content=Lexology+Daily+Newsfeed+2025-10-16&utm_term=

² <https://oneworldip.com/egypt-increase-in-official-fees-for-patents-plant-varieties-and-copyrights/>

³ <http://www.egypo.gov.eg/pdfs/doc138.pdf>

⁴ <http://www.egypo.gov.eg/pdfs/doc140.pdf>

⁵ <https://cwbiip.com/insights/news/2025/egypt-updates-official-fees-patents-plant-varieties-and-copyrights>

録および登録情報の修正に関する手数料は従来の 5 倍に引き上げられるとともに、公開および調査に関わる手数料が正式に導入される。

特許に関する手数料引き上げのうち、特に重要なものを以下に示す。

	従来の料金	10 月 4 日以降に適用される 新料金（単位はエジプト・ ポンド）	引上げ率
出願に関わる手数料			
出願審査料	50 エジプト・ポンド（米ドル換 算で 1.06 ドル；日本円換算で 163 円）	200 エジプト・ポンド（米 ドル換算で 4.23 ドル；日本 円で 652 円）	300%
その他の料金			
特許証抄本発行料	500 エジプト・ポンド（米ドル換 算で 10.58 ドル；日本円換算で 1,630 円）	1,000 エジプト・ポンド（米 ドル換算で 21.16 ドル；日 本円で 3,240 円）	100%
調査料	2,000 エジプト・ポンド（米ドル 換算で 42.31 ドル；日本円で 6,520 円）	7,000 エジプト・ポンド（米 ドル換算で 148.12 ドル；日 本円で 22,820 円）	250%
翻訳料－ページ単価	50 エジプト・ポンド（米ドル換 算で 1.06 ドル；日本円換算で 163 円）	200 エジプト・ポンド（米 ドル換算で 4.23 ドル；日本 円で 652 円）	300%
特許願書フォーマット料 （100 ページまで）	5,000 エジプト・ポンド（米ドル 換算で 105.80 ドル；日本円で 16,300 円）	10,000 エジプト・ポンド （米ドル換算で 211.60 ド ル；日本円で 32,600 円）	100%
技術図面作成料	100 エジプト・ポンド（米ドル換 算で 2.12 ドル；日本円換算で 326 円）	250 エジプト・ポンド（米 ドル換算で 5.29 ドル；日本 円で 815 円）	150%

総合的に言えば、今回の改定は知財に関するエジプトの料金体系を近代化するものではあるが、出願や維持に要する費用が大幅に増加するため、出願人や企業はコスト上昇に合わせて予算や出願戦略の調整を求められる。新たな料金表の全体についてはこの [URL](#) を参照されたい。

ケニア

・ KIPi の商標登録承認を所管省が阻止する危機的事態——詐欺行為の申立を受けて KIPi による商標および特許の承認を停止^{6,7}

ケニア投資貿易産業省（Ministry of Investments, Trade and Industry；ケニア産業財産権機関（KIPi）の上位機関）は、詐欺行為とガバナンス問題に関わる申立を受けて、KIPi による商標、特許および意匠の承認を一時停止する処分に踏み切った。KIPi の職員が KIPi 理事会の監視の目をかいくぐって複数の出願を処理し、結果的に複数の登録と利益の抵触が生じていたことが発覚したのである。

同省の要請により、問題の調査が終了するまでは、知的財産に関わるすべての処分に KIPi 理事会の承認が求められている。KIPi の管理部門と KIPi 委員会との確執は、訴訟等の法的リスク、投資家からの信用、さらには「ケニア・ビジョン 2030」（Vision 2030）に基づく知財ハブとしてのケニアの信頼性をめぐって懸念を生じさせている。

・ ケニアのデータ検証・確認プロジェクトが終了⁸

世界知的所有権機関（WIPO）は、KIPi との協力関係の下で、ケニアの商標データベースのクリーンアップと近代化を目的とするデータ検証・確認プロジェクトを完了した。同プロジェクトは、日本が WIPO に支出した任意拠出金を基に設立された信託基金「日本知的財産グローバルファンド」からの資金提供によって実現したもので、KIPi の産業財産権自動化システム；（Industrial Property Automation System；IPAS システム）の統合性を向上させるため、140,000 件以上の商標記録の見直し、訂正および標準化が行われた。このデータベース最適化構想によって、ケニアのオンライン知財サービスが強化され、的確なデータ管理のための持続可能なプロセスが確立され、同国の知財システムの近代化がさらに前進することとなった。

リビア

・ リビア商標局が認証済み文書の国内認証に関する要件を復活⁹

リビア商標局（Libyan Trademark Office）は、外国で認証を受けた文書はすべてリビア貿易・国際協力省（Libyan Ministry of Foreign Affairs and International Cooperation）による国内認証を受けなければならないという要件を復活させた。国内認証に伴う手数料は当該文書が最初に認証された国によって異なる、という点に注意されたい。

OAPI

・ OAPI が知財文書デジタル化プロジェクトを順調に完了¹⁰

WIPO は、アフリカ知的財産機関（OAPI）と提携し、日本の拠出金に基づき信託基金「日本知的財産グローバルファンド」（Japanese Funds-in-Trust Japan Industrial Property Global）から資金を得て、OAPI の産業財産ファイル（特許、商標、意匠）の大々的なデジタル化プロジェクトに取り組

⁶ <https://www.the-star.co.ke/business/2025-10-02-crisis-as-ministry-blocks-trademark-approvals-at-kipi>

⁷ <https://eastleighvoice.co.ke/business/219340/trademark-patent-approvals-halted-at-kipi-amid-fraud-allegations>

⁸ <https://www.wipo.int/en/web/fit-japan/w/news/2025/completion-of-data-validation-and-verification-project-in-kenya>

⁹ <https://oneworldip.com/libya-libyan-trademark-office-resumes-local-attestation-requirement-for-legalized-documents/>

¹⁰ <https://www.wipo.int/en/web/fit-japan/w/news/2025/ip-document-digitization-project-successfully-completed-for-oapi>

んでいたが、2024 年に同プロジェクトは無事に終了した。およそ 430 万ページの紙媒体に記された記録をスキャンし、インデックスを付け、デジタル記録管理システム（IPAS/EDMS）に送り込むという膨大な作業が完了したのである。元の文献に見られたデータの欠落は埋められ、法的な状態に関する情報は更新された。このプロジェクトの目的は、OAPI の 17 の加盟国のあらゆる地域において、審査/処理の際のファイルの利用性を向上させ、記録の保管状態とセキュリティを向上させ、広域的/国際的なデータ交換をサポートし、透明性と効率性を強化することである。

南アフリカ

南アフリカの知財枠組みについて予想される重要な展開^{11,12}

南アフリカの知的財産制度は広範囲にわたる改革の過程にあり、今後提出される法案によって知財制度の全体的な枠組みの近代化がもたらされるはずである。主要な改革としては以下のようなものが挙げられる。

- 新たな特許法案と意匠法改正法案が旧法に代わって施行され、国内法を国際的なベスト・プラクティスの基準に適合させる。
- 特許出願の実体審査の導入（現在の無審査登録制度の放棄）。これにより、付与された特許の信頼性と法的強制力が増大するだろう。
- 特許と意匠を補足するものとして実用新案（より安価で迅速な保護形態）が追加される可能性。これにより、特許発明に該当しない漸進的な技術革新の保護がより容易になる。

さらに、意匠法による保護を拡大し、手続の明瞭性を向上させ、国内のイノベーターと国際投資家の両方を支える制度を保証することも、南アフリカが目指す改革の目的である。

タンザニア

・タンザニアの新たな水際対策：輸入品に関する商標権登録義務が 2025 年 12 月から発効^{13,14}

2025 年 9 月 1 日付で施行された「2025 年金融法」（Finance Act 2025）に基づき、タンザニア政府は、2025 年 12 月 1 日以降タンザニア本土に輸入される商品に表示された商標すべてにつき、商標権登録を義務づけようとしている。商標を表示した商品が公正競争委員会（Fair Competition Commission ; FCC）に登録されていない場合、その商品は——表示された商標が真正な（どこかで登録された）ものであったとしても——税関で入国を差し止められ、留置され、さらには罰金を科される可能性がある。こうした措置の目的は、国境管理とタンザニアにおける商標権の執行を強化することであり、権利者（外国人の商標権者を含む）にとっては、同国において自らの法執行体制を強化する機会が与えられることになる。登録の実行に当たっての詳細な手続は、「2025 年商品表示（登録）規則」（Merchandise Marks (Recordation) Regulations, 2025）に基づいてすでに公表されており、登録申請手続、必要書類、適用される料金等は同規則に示されている。登録申請書は「FCC1」の書式に従って作成し、関係書類とともに商品表示主任調査官（Chief Inspector of Merchandise

¹¹ <https://www.golegal.co.za/ip-framework-developments/>

¹² <https://www.golegal.co.za/patent-design-legislation/>

¹³ <https://www.lexology.com/library/detail.aspx?g=603dc9e6-9868-4b96-9ef2-ee23f43a5097>

¹⁴ <https://www.clydeco.com/en/insights/2025/10/legal-update-the-merchandise-marks-recordation-reg>

Marks) に提出することを要する。申請書提出の時点で、1 つの商品区分につき 20 万タンザニア・シリング（米ドル換算で 75 ドル；日本円で 11,000 円）の規定料金を併せて支払う必要がある。

ウガンダ

・著作権登録の簡略化を目指す URSB が官報掲載に関する要件を撤廃¹⁵

ウガンダ登録サービス局（URSB）は、「著作権・著作隣接権（改正）規則」（2025 年規則第 73 号）（Copyright and Neighbouring Rights (Amendment) Regulations, S.I. No. 73 of 2025）に基づき、著作権登録の要件に変更を加えた。この変更は 2025 年 9 月 26 日をもって発効し、同日以降、著作権/著作隣接権登録の申請人は登録証の発行に先立って自らの申請を官報上で公表しなければならないという要件は撤廃されることになる。これまでウガンダのクリエイターたちは、著作権登録を認められる前提として官報上での申請の公表という手順を踏まなければならず、この手順は時間がかかる上に費用負担も大きいと見なされていた。今回の手続改正は、著作権登録の迅速化・費用の軽減・利用性の拡大を目指すもので、クリエイティブ部門で活動する人々（芸術家、作家、ソフトウェア開発者など）に対して各自の著作物の保護を促し、イノベーションを促進することを狙った措置である。

2. 他のトピック

アフリカ全域

- ・WIPO の「プロジェクト 1%」（Project 1%）による知財教育がアフリカ全土に拡大

<https://www.wipo.int/en/web/wipo-academy/w/news/2025/project-1-expands-ip-education-across-africa> (2025 年 10 月 9 日)

アルジェリア

- ・指導者養成プログラム「知的財産と現代技術」（Intellectual Property and Modern Technologies）の第 4 回および最終回の講座が終了

<https://www.facebook.com/share/p/1ZXnSPHuOK/> (2025 年 10 月 2 日)

- ・間もなく活動開始：アルジェリアの知財訓練センター

<https://www.facebook.com/ONDADZOFFICIEL/posts/pfbid02XxjMhBX4nKYZcdqFE2nT7EVEV5A3UchPvM2GjYiaWeZrURaYkCZmgCNncR2Rq4Hyl?rldid=AGbMROERdlWPxQCC#> (2025 年 10 月 17 日)

アンゴラ

- ・アンゴラ産業財産庁（Instituto Angolano da Propriedade Industrial ; IAPI）がアンゴラ・アクティブ・ベンチャーキャピタルファンド（Fundo Activo de Capital de Risco Angolano ; FACRA）の協力を得て産業財産権に関するセミナーを実施

¹⁵ <https://ursb.go.ug/2025/10/06/ursb-eases-copyright-registration-by-removing-gazette-requirement/>

<https://iapi.gov.ao/web/noticias/o-instituto-angolano-da-propriedade-industrial-iapi-realiza-em-parceria-com-o-fundo-activo-de-capital-de-risco-angolano-facra-o-seminario-sobre-a-propriedade-industrial> (2025 年 10 月 27 日)

- ・ ナミベ州 (Namibe) で産業財産権に関するセミナー開催

<https://iapi.gov.ao/web/noticias/seminario-sobre-propriedade-industrial-na-provincia-do-namibe> (2025 年 10 月 29 日)

ARIPO

- ・ ARIPO の「産業財産に関する技術委員会」 (Technical Committee on Industrial Property ; TCIP) が 15 回目の会合を実施

https://www.linkedin.com/posts/african-regional-intellectual-property-organization_ipfordevelopment-activity-7379137519482908672-

[LABM?utm_source=share&utm_medium=member_desktop&rcm=ACoAABBHjSUBNe6s9vY5YuQjfDO8l9hJ34epvQ](https://www.linkedin.com/posts/african-regional-intellectual-property-organization_ipfordevelopment-activity-7379137519482908672-) (2025 年 10 月 1 日)

- ・ 「知的財産権：アフリカ域内貿易の基礎」 – ARIPO

<https://www.aripo.org/public/news/%E2%80%9CIntellectual+Property+Rights:+A+Cornerstone+for+Intra-African+Trade%E2%80%9D+-+ARIPO-1760000133> (2025 年 10 月 4 日)

- ・ ケニア産業財産権機関の公認会計士 Caroline Mawathe 女史および Douglas Gikunda 氏が ARIPO を訪問

https://www.linkedin.com/posts/african-regional-intellectual-property-organization_ipmanagement-intellectualpropertyasset-kenya-activity-7383496417342013440-

[xXfs?utm_source=share&utm_medium=member_desktop&rcm=ACoAABBHjSUBNe6s9vY5YuQjfDO8l9hJ34epvQ](https://www.linkedin.com/posts/african-regional-intellectual-property-organization_ipmanagement-intellectualpropertyasset-kenya-activity-7383496417342013440-) (2025 年 10 月 13 日)

- ・ アフリカの知的財産問題に取り組む ARIPO が 6 回目の年次シンポジウムを開催

<https://www.aripo.org/public/news/ARIPO+Opens+6th+Annual+Symposium+to+Tackle+Copyright+Matters+in+Africa-1761051217;>

https://www.linkedin.com/posts/african-regional-intellectual-property-organization_aripomemberstates-activity-7386393395197370368-

[qoyj/?utm_source=share&utm_medium=member_desktop&rcm=ACoAAAVxn4UBmx6eu6dZ8acBthTL72F5G8jB4Aw;](https://www.linkedin.com/posts/african-regional-intellectual-property-organization_aripomemberstates-activity-7386393395197370368-)

<https://www.facebook.com/ARIPOSecretariat/posts/pfbid02BS8WBvutoofjgfyAH8HcWN6d7W1yTj3JHqMsF8rEp4Z2sf9scm3uATBH52Qpm5tl?rclid=bmRj49J74JkGy6Cn#> (2025 年 10 月 21 日)

- ・ ARIPO が上級職員からなる使節団をリベリアに派遣

https://www.linkedin.com/posts/bemanya-twebaze-922255192_liberias-story-is-one-of-resilience-and-ugcPost-7386682148235325441-

[M0oj/?utm_source=share&utm_medium=member_desktop&rcm=ACoAAAVxn4UBmx6eu6dZ8acBthTL72F5G8jB4Aw](https://www.linkedin.com/posts/bemanya-twebaze-922255192_liberias-story-is-one-of-resilience-and-ugcPost-7386682148235325441-) (2025 年 10 月 22 日)

現在開催中の第 6 回 ARIPO 著作権・著作隣接権年次シンポジウムで展開された議論

<https://www.facebook.com/share/p/1BPnaw4nCF/> (2025 年 10 月 23 日)

カーボベルデ

- ・品質管理・知的財産庁（Instituto da Qualidade, Propriedade Intelectual e Inovação ; IGQPI）が経済活動総検査局（Inspeção Geral das Atividades Económicas）の検査官向けに対面式の知財クリニックを初開催

<https://www.facebook.com/IGQPI/posts/pfbid02nLTQFuQrYMWWhiHVWWhKmDjY4EZ1RivB2zwPW5Ewc7KXjvvBLzEGotm8rc6f4iweoBl?rdid=qcwinyAdTtKmHM2A#> (2025 年 10 月 6 日)

- ・カーボベルデ－ブラジルの二国間協力

<https://www.facebook.com/share/p/1AgfWYykZa/> (2025 年 10 月 9 日)

- ・参加者募集：プログラム「零細/中小企業およびスタートアップ企業のための知財ラボ」

（IP Lab for Micro, Small and Medium Enterprises and Startups）のプレゼンテーション研修
<https://www.facebook.com/IGQPI/posts/pfbid0xnZmtcMix8drB4nx8VHERv2hL4Ntky39YM4dut6dh4syVsJBqySNxpuvarFWHz51l?rdid=6IJDsMdneyo5IIST1> (2025 年 10 月 22 日)

- ・IGQPI が WIPO との連携により「零細/中小企業およびスタートアップ企業のための知財ラボ」プログラムに基づくワークショップを開催

<https://www.facebook.com/IGQPI/posts/pfbid0vaFMT9oJiITTagghAiCVLwn9mmzMvQyYTopitYJeyqMzXkAMDEZoRNfjRiRknFYTl?rdid=Dy1u8UQpeAgIFGNo#> (2025 年 10 月 30 日)

エジプト

- ・エジプト知的財産庁（Egyptian Intellectual Property Authority）が特許調査および審査の手法と規則を変更

<https://www.almazdar.com/162325> (2025 年 10 月 16 日)

エチオピア

- ・エチオピア知的財産庁（Ethiopian Intellectual Property Authority）が 2025 年 9 月 22 日付でランド・インディケーターに関する最終法案を各方面の利害関係者および協力者に提示

<https://www.facebook.com/eipa.gov.et/posts/pfbid036NfnwZ8VLaznG2xRzQsb5Dpof34zEFEY5KwgjPeEp7VXjHjsV5kBudF7LiayWsKxl?rdid=yIlgk29cpOF6dpjHY#> (2025 年 10 月 2 日)

- ・地理的表示の社会経済的な重要性について省庁間ワークショップを開催

<https://www.facebook.com/eipa.gov.et/posts/pfbid02DPwAufidUz5rbHoBmRuwxhH3aQ1WuGt8JEFCLA3iE7SUjLyQBZAkdp7cmgLhWGvhl?rdid=JuYlbO6RmwopplrQ#> (2025 年 10 月 3 日)

- ・エチオピアが挑む二大事業：Limu コーヒーの地理的表示認定と地理的表示保護に関する法の発展

https://www.facebook.com/permalink.php?story_fbid=pfbid0219r4zog6ffVg5S574RZqtDLxgKWUpi5XWNFzkfFR7Wvov7rC93LxiV4QgtjeZe7al&id=61575007271955&rdid=UWzv4gp3NRGgQGvH# (2025 年 10 月 23 日)

ケニア

- ・ケニア模倣品取締機関（ACA）は透明性向上のため政府電子調達を活用

<https://www.aca.go.ke/media-center/news-and-events> (2025 年 10 月 3 日)

- ・デジタル・トランスフォーメーションを通じた透明性の追求

https://www.linkedin.com/posts/anticounterfeitaauthority_driving-transparency-through-digital-transformation-activity-7381213415823859712-4Zm6/?utm_source=share&utm_medium=member_desktop&rcm=ACoAAFvjLSEBg2HyOPLCKy4PLvBLaJ80fN_ygnQ (2025 年

10 月 7 日)

- ・「知的財産に関する国家政策および戦略」（National Intellectual Property Policy and Strategy）の練り直しのため国内 IP 企業の CEO たちがナイロビ北西の町ナイバシャ（Naivasha）で会合

https://www.linkedin.com/posts/anticounterfeitaauthority_kenyas-ip-industry-ceos-convene-in-naivasha-activity-7381323023032782848-rZPI/?utm_source=share&utm_medium=member_desktop&rcm=ACoAAFvjLSEBg2HyOPLCKy4PLvBLaJ80fN_ygnQ (2025 年

10 月 8 日)

- ・ケニア著作権委員会（Kenya Copyright Board；KECOBO）が著作権の集中管理団体（CMO）の 2025 年事業許可に関する公告を 2025 年 10 月 14 日付で発出

<https://copyright.go.ke/media-center/news-updates/collective-management-organizations-cmos-licensing-2025> (2025 年 10 月 14 日)

- ・ケニア政府が国内のイノベーションに対する支援を約束

<https://www.kipi.go.ke/index.php/government-committed-supporting-innovation-country> (2025 年 10 月 22 日)

- ・洞察から衝撃へ：消費者教育を通じて模倣品に対する需要の抑制を目指す ACA がミシガン州立大学および米国国際大学アフリカ校（USIU-Africa）と連携

<https://www.aca.go.ke/media-center/news-and-events/578-aca-partners-msu-usiu-a-to-curb-demand-for-counterfeits;>
https://www.linkedin.com/posts/anticounterfeitaauthority_aca-partners-with-michigan-state-university-activity-7386355353501732864--Nvo/?utm_source=share&utm_medium=member_desktop&rcm=ACoAAVxn4UBmx6eu6dZ8acBthTL72F5G8jB4Aw (2025 年

10 月 22 日)

- ・ケニア（ACA）がミシガン州立大学（MSU）および米国国際大学アフリカ校（USIU-A）との協力により 3 日間のワークショップを開催

https://www.linkedin.com/posts/anticounterfeitaauthority_aca-partners-with-michigan-state-university-activity-7386355353501732864--Nvo/?utm_source=share&utm_medium=member_desktop&rcm=ACoAABBHjSUBNe6s9vY5YuQjfDO8I9hJ34ephvQ (2025 年

10 月 23 日)

リベリア

- ・ 国立リベリア大学（University of Liberia；UL）に技術・イノベーション支援センター（TISC）を設立するためリベリア知的財産庁（Liberia Intellectual Property Office；LIPO）と同大学が機関合意書に署名

<https://tcaliberia.org/the-liberia-intellectual-property-office-lipo-and-the-university-of-liberia-ul-have-signed-institutional-agreement-to-establish-a-technology-and-innovation-support-center-tisc-at-the-state-run-u/> (2025 年 10 月 1 日)

- ・ リベリアの知財フレームワークとリベリア政府-ARIPO 間の協力強化

<https://www.facebook.com/liberiaipo/posts/pfbid0RY138adEQR6MPiqd5aj8rfDaemCm65nUddNqhBJL4LkooXkTWefu87TZNYzmHgwI?rdid=EusM5LW4Sh2c5uff#> (2025 年 10 月 15 日)

- ・ ARIPO 長官がリベリア大統領府と会合

<https://www.facebook.com/share/p/175cCU9pgJ/>; <https://www.facebook.com/share/p/17SnDyiWt6/>
<https://www.facebook.com/share/p/1AHPRRohzE/>; <https://www.facebook.com/share/p/17DewgsCsK/>
<https://www.facebook.com/share/p/17R6eCL2Po/>; <https://www.facebook.com/share/p/1R3GPr7vZt/>
<https://www.facebook.com/share/p/1AVaSbgbc3/> (2025 年 10 月 12 日)

- ・ リベリアの ARIPO 議定書批准に向けて同国のボアカイ大統領が支援を約束

<https://lipo.gov.lr/2025/10/17/liberia-to-ratify-aripo-protocols-after-boakai-pledges-support/> (2025 年 10 月 17 日)

モロッコ

- ・ フランコフォン同盟の第 1 回知的財産会議：新たな力がカサブランカで始動

<https://oapi.int/2025/10/20/premiere-conference-de-lalliance-francophone-de-la-propriete-intellectuelle-une-dynamique-lancee-a-casablanca/>;
[https://www.linkedin.com/posts/oapi-linkedin_casablanca-pi-innovation-activity-7385110527993147392-BXo8/?utm_source=share&utm_medium=member_desktop&rcm=ACoAAAVxn4UBmx6eu6dZ8acBthTL72F5G8jB4Aw](https://www.linkedin.com/posts/oapi-linkedin_casablanca-pi-innovation-activity-7385110527993147392-BXo8/?utm_source=share&utm_medium=member_desktop&rcm=ACoAAAVxn4UBmx6eu6dZ8acBthTL72F5G8jB4Aw;);
<http://www.ompic.ma/fr/actualites/lompic-organise-la-premiere-conference-de-lalliance-francophone-de-la-propriete> (2025 年 10 月 21 日)

ナイジェリア

- ・ 放送業界における権利管理の強化を目指すナイジェリア放送事業者組合（BON）がナイジェリア著作権委員会（NCC）との協力強化を熱望

<https://copyright.gov.ng/bon-seeks-stronger-collaboration-with-ncc-to-enhance-rights-management-in-broadcasting/> (2025 年 10 月 22 日)

- ・ 著作権法に携わる法律専門家に対する支援の約束を NCC が再確認

<https://copyright.gov.ng/ncc-reaffirms-commitment-to-supporting-legal-professionals-in-copyright-law/> (2025 年 10 月 22 日)

- ・ デジタル空間での権利執行能力の強化に関して NCC が英国の Autodesk 社と提携

<https://copyright.gov.ng/ncc-partners-autodesk-on-capacity-building-for-rights-enforcement-in-the-digital-space/> (2025 年 10 月 22 日)

・ ナイジェリア複製権協会（REPRONIG）の刷新と教育機関への著作権の普及に取り組む
NCC、WIPO、世界複製権機構連合（IFRRO）

<https://copyright.gov.ng/ncc-wipo-ifrro-to-revamp-repronig-and-promote-copyright-in-educational-institutions/> (2025 年 10 月 22 日)

・ 強力な知的財産制度はナイジェリアの大学の世界的な知名度を向上させる —— NCC 事務局長談

<https://copyright.gov.ng/strong-intellectual-property-ip-system-will-boost-nigerian-universities-global-visibility-dg-ncc/> (2025 年 10 月 22 日)

・ 品位を守る：NCC が汚職防止と倫理について職員を教育

<https://copyright.gov.ng/upholding-integrity-ncc-trains-staff-on-anti-corruption-ethics/> (2025 年 10 月 22 日)

・ ナイジェリア著作権委員会とナイジェリア通信委員会がオンラインで多発する著作権侵害の抑止を約束

<https://copyright.gov.ng/nigerian-copyright-commission-nigerian-communications-commission-pledge-to-stem-the-tide-of-online-piracy/> (2025 年 10 月 22 日)

・ NCC がナイジェリア南部のイモ州（Imo State）において当局間の協力体制を強化

<https://copyright.gov.ng/ncc-strengthens-inter-agency-collaboration-in-imo-state/> (2025 年 10 月 22 日)

・ 第 8 回カドゥナ国際映画フェスティバル（Kaduna International Film Festival）で NCC が映画制作者への支援を呼びかけ

<https://copyright.gov.ng/ncc-canvasses-support-for-film-makers-at-8th-kaduna-international-film-festival/> (2025 年 10 月 22 日)

・ アブジャ（Abuja）で行われた「2025 年ビジネスクリニック」（2025 Business Clinic）を機に開催された大学学長会議（CVCNU）において NCC 事務局長が研究商業化・知的財産・イノベーション管理に関して学術関係者と諸大学の学長に課題を提示

<https://www.facebook.com/share/p/17eZyvVcG7/> (2025 年 10 月 24 日)

OAPI

・ イノベーションと知的財産活用を通じて女性の経済的地位向上を—— AFPI プロジェクトの具体的運用

https://www.linkedin.com/posts/oapi-linkedln_oapi-formation-cameroun-activity-7378930093311827968-FmVQ/?utm_source=share&utm_medium=member_desktop&rcm=ACoAABBHJSUBNe6s9vY5YuQjfDO8l9hJ34ephvQ (2025 年 10 月 1 日)

・ AFPI プロジェクト：知的財産を通じた価値の創出に携わる女性たちに対し OAPI と国連人口基金カメルーン支部が共同で支援を提供

<https://oapi.int/2025/10/03/projet-afpi-loapi-et-lunfpa-cameroun-unissent-leurs-forces-pour-accompagner-les-femmes-dans-la-creation-de-valeur-grace-a-la-proprieete-intellectuelle/> (2025 年 10 月 3 日)

・ OAPI ブランドアワード ―― 第 5 回のテーマは「HERE WE ARE!」

https://www.linkedin.com/posts/oapi-linked_in_oapi-libreville2025-proprieetaezintellectuelle-activity-7381450053472907264-Kp3x/?utm_source=share&utm_medium=member_desktop&rcm=ACoAAAVxn4UBmx6eu6dZ8acBthTL72F5G8jB4Aw (2025 年 10 月 8 日)

・ 5 回目の OAPI ブランドアワードがガボンの首都リーブルビルで開催

https://www.linkedin.com/posts/oapi-linked_in_oapi-libreville-marques-activity-7381875222938877952-tUNX/?utm_source=share&utm_medium=member_desktop&rcm=ACoAAAVxn4UBmx6eu6dZ8acBthTL72F5G8jB4Aw&lipi=urn%3Ali%3Apage%3Ad_flagship3_company_posts%3B8wnasrh6R%2FCvs1%2BK%2B25FkQ%3D%3D (2025 年 10 月 9 日)
https://www.linkedin.com/posts/oapi-linked_in_awardsdelamarqueoapi-gabon-libreville-activity-7382613665289539584-NTZD/?utm_source=share&utm_medium=member_desktop&rcm=ACoAABBHjSUBNe6s9vY5YuQjfDO8l9hJ34epvhQ (2025 年 10 月 11 日)

・ ベナンが誇る自国の味と独自性：サヴァルー（Savalou）産のキャッサバ加工品「ガリ・ソウイ」（Gari Sohoui）とアゴンリン（Agonlin）産のオイルが地理的表示保護を獲得

<https://oapi.int/2025/10/20/le-benin-celebre-ses-saveurs-et-son-identite-le-gari-sohoui-de-savalou-et-lhuile-dagonlin-obtiennent-le-label-igp/>; https://www.linkedin.com/posts/oapi-linked_in_patrimoineilocal-oapi-igp-activity-7385331514646953984-eAoW/?utm_source=share&utm_medium=member_desktop&rcm=ACoAAAVxn4UBmx6eu6dZ8acBthTL72F5G8jB4Aw (2025 年 10 月 20 日)

・ 地理的表示：ギニア産のパイナップル「バロンヌ・ド・ギニー」（Baronne de Guinée）とギニアの民族衣装に使われる伝統的な織物「レピ・デ・ギニー」（Léppi de Guinée）

https://www.linkedin.com/posts/oapi-linked_in_oapi-labellisation-igp-activity-7386491790134243329-Yjhh/?utm_source=share&utm_medium=member_desktop&rcm=ACoAAAVxn4UBmx6eu6dZ8acBthTL72F5G8jB4Aw ;
https://www.linkedin.com/posts/oapi-linked_in_oapi-conakry-originalitaez-activity-7386897480136695808-wejE/?utm_source=share&utm_medium=member_desktop&rcm=ACoAAAVxn4UBmx6eu6dZ8acBthTL72F5G8jB4Aw (2025 年 10 月 21 日)
<https://oapi.int/2025/10/24/la-guinee-celebre-deux-nouvelles-indications-geographiques-protegees-lananas-baronne-de-friguiagbe-et-le-leppi-de-guinee/>
https://www.linkedin.com/posts/oapi-linked_in_oapi-labellisation-igp-activity-7386491790134243329-Yjhh/?utm_source=share&utm_medium=member_desktop&rcm=ACoAABBHjSUBNe6s9vY5YuQjfDO8l9hJ34epvhQ;
https://www.linkedin.com/posts/oapi-linked_in_oapi-conakry-originalitaez-activity-7386897480136695808-wejE/?utm_source=share&utm_medium=member_desktop&rcm=ACoAABBHjSUBNe6s9vY5YuQjfDO8l9hJ34epvhQ (2025 年 10 月 22 日)

・ 新たに獲得した 2 つの地理的表示保護を祝うギニア：フリギアーベ（Friguiagbé）産のパイナップル「バロンヌ」（Baronne）とギニアの伝統的織物「Léppi」

<https://oapi.int/2025/10/28/la-guinee-celebre-deux-nouvelles-indications-geographiques-protegees-lananas-baronne-de-friguiagbe-et-le-leppi-de-guinee-2/> (2025 年 10 月 28 日)

南アフリカ

・ WIPO-TIH 主催の知財管理クリニックが南アフリカで開催

https://www.linkedin.com/posts/national-intellectual-property-management-office-nipmo-_innovation-intellectualproperty-wipo-activity-7379551544435888128-ZqMP/?utm_source=share&utm_medium=member_desktop&rcm=ACoAABBHjSUBNe6s9vY5YuQjfDO8l9hJ34ephvQ (2025 年

10 月 2 日)

・ 規格外の医薬品や模倣医薬品から数百万の人々を保護するため南アフリカが国家的な行動計画 (National Action Plan) に着手

<https://www.who.int/news/item/26-10-2025-south-africa-launches-national-action-plan-to-protect-millions-from-substandard-and-falsified-medical-products> (2025 年 10 月 30 日)

ウガンダ

・ 国際商標協会 (INTA) が URSB の商標審査能力の強化に対する支援を約束

<https://ursb.go.ug/2025/10/06/inta-pledges-support-to-ursb-in-strengthening-trademark-examination-capacity/> (2025 年 10 月 6 日)

・ ウガンダの人気ラッパー Navio が率いる「Navio's Orchestra」のコンサートにおいて URSB が著作権保護を奨励

<https://ursb.go.ug/2025/10/06/ursb-champions-copyright-protection-at-navios-orchestra-concert/> (2025 年 10 月 6 日)

・ イノベーションとブランド保護の強化を目指す URSB が知的財産審査官の研修を実施

<https://ursb.go.ug/2025/10/06/ursb-trains-intellectual-property-examiners-to-strengthen-innovation-and-brand-protection/> (2025 年 10 月 6 日)

・ 公告：URSB のサービスセンターがカンパラのビジネスセンター「Posta Uganda」から同じくカンパラの「Georgian house」に一時的に移転

<https://ursb.go.ug/2025/10/16/ursb-temporarily-relocates-service-centre-from-posta-uganda-to-georgian-house/> (2025 年 10 月 16 日)

・ 「メイド・イン・ウガンダ構想」を通じて国内製造者を支援するため URSB がウガンダの物流サービス業者 Kwanza Logistics と提携

<https://ursb.go.ug/2025/10/21/ursb-and-kwanza-logistics-to-collaborate-in-supporting-local-manufacturers-through-made-in-uganda-initiative/> (2025 年 10 月 21 日)

・ URSB が各方面の政府当局と連携して公共サービス提供を拡大

<https://ursb.go.ug/2025/10/21/ursb-partners-with-government-agencies-to-enhance-public-service-delivery/> (2025 年 10 月 21 日)

・ 著作権使用料の徴収とガバナンスを推進するため URSB とウガンダ実演権協会 (UPRS) が協力関係を強化

<https://ursb.go.ug/2025/10/21/ursb-uprs-forge-stronger-partnership-to-boost-royalty-collection-and-governance/> (2025 年 10 月 21 日)

- ・ URSB の大規模事業登録クリニックの開催候補地はルジラ (Luzira) とカンパラ

<https://ursb.go.ug/2025/10/21/ursbs-mass-business-registration-clinics-target-luzira-and-kampala/> (2025 年 10 月 21 日)

- ・ ミュージシャンを対象とする 280 億シリングのクリエイティブ基金の運用に向けて動く政府

<https://ursb.go.ug/2025/10/21/government-moves-to-operationalise-shs-28-billion-creative-fund-for-musicians/> (2025 年 10 月 21 日)

ザンビア

- ・ ザンビア特許企業登録局 (PACRA) と ARIPO が特許調査に関してザンビアの研究者を登用

<https://www.facebook.com/PacraZambia/posts/pfbid02GpU46ShRPcp5vm8V8kVfVYwSBSGeSyh7nmNVaAyEfAgG32RnDgPnYEUZn6QeP3vwl?rclid=RRly8KH6wtu0PQ4C#> (2025 年 10 月 14 日)

[特許庁委託]

アフリカ知的財産ニュースレター Vol. 112

[著者]

KISCH IP

KISCH 

[発行]

日本貿易振興機構 ドバイ事務所

JETRO
JAPAN EXTERNAL TRADE ORGANIZATION

2025 年 11 月発行 禁無断転載

本ニュースレターは、KISCH IP が英語にて原文・日本語訳を作成し、JETRO ドバイ事務所がそのチェックと修正を施したものです。また、本ニュースレターは、作成の時点で入手している情報に基づくものであり、その後の法律改正等によって変わる場合があります。掲載した情報・コメントは著者及び当事務所の判断によるものですが、一般的な情報・解釈がこのとおりであることを保証するものでないことを予めお断りします。なお、本ニュースレターの内容の無断での転載、再配信、掲示板への掲載等はお断りいたします。

また、JETRO は、ご提供する情報をできる限り正確にするよう努力しておりますが、提供した情報等の正確性の確認・採否は皆様の責任と判断で行なうようお願いいたします。

本文を通じて皆様に提供した情報の利用により、不利益を被る事態が生じたとしても、JETRO はその責任を負いかねます。